

法 医 学

1 担当教員名

【研究指導教授】 教授 妹尾 洋
【科目担当者】

2 教育目標

(1) ねらい

法医学とは、法律上問題となる医学的事項を検査、研究し法的解決に寄与することを目的とする学問である。法医実務は医療関連死等臨床医学にも大いに関連する事項が多い。そのため、学生が公正で偏りのない判断ができるようになることを目的とする。中毒学研究に関しては法医実務に直接関係する機器分析の理論と実際を理解し、学生自身で分析を行うことができることを目標とする。

(2) 学修の到達目標

- ① 法医実務に関する用語(異状死体, 死体検案, 司法解剖等)を説明できる。
- ② 法医実務に直接関係する薬毒物分析手法を説明できる。
- ③ 法律的根拠に基づいて死者および遺族に対応できる。
- ④ 死体検案, 司法解剖の実務を実施できる。
- ⑤ 薬毒物分析に用いる HPLC/MS, GC/MS を操作できる。

3 授業内容

【講義】	1 法医実務概論と解説 2 法中毒学, 特に薬毒物分析の理論と実際
【演習】	1 死体検案, 司法解剖等の実務について, 指導者のもとで修得 2 法医学及びその関連領域の内外の文献の抄読と討論
【実験研究】	1 HPLC/MS, GC/MS等研究に必要な各種機器分析法を修得し, 薬毒物の分析, 有機薬毒物代謝物の分析に関する研究を行う。 2 死体検案, 司法解剖等, 法医実務に関わる諸問題の研究を行う。

4 成績評価の方法・基準

研究に真摯に取り組む姿勢と、実務における客観的な考察能力等を総合的に見て評価する。
さらに、試験、小テスト、課題レポート、授業での発表、提出物等を組み合わせ、複合的に評価する。

5 教科書・参考図書

Knight's Forensic Pathology. Pekka Saukko. et al (Arnold; 4版, 2015)
Clarke's Analysis of Drugs and Poisons. Anthony C. et al (Pharmaceutical Press; 4版, 2011)
Drugs and Poisons in Humans. Osam Suzuki. et al (Springer; 2015版)

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

事前にテキストの事例などに目を通しておく。(1週間に14時間程度の予習・復習が望ましい。)

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

法医学に関する論文作成を通して、法医学分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力、特に専門領域での様々な課題に対応できる実践力を修得できる。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

レポートは、評価後返却されるが、内容に不足・誤りがある場合は再提出を求めることがある。

9 履修上の留意点

法医学は医学だけに偏らない広い分野での知識が必要となる。そこで、社会的側面なども考慮した上での公正で的確な判断を望まれることとなる。また、薬毒物分析には化学の知識と、大型分析器の操作も必要となる。

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	妹尾 洋	月～木	10:00～16:30	研究棟 268 号室	内線 12268